

京都府知事 山田 啓二 様

要 望 書

本市では、本年 9 月 15 日・16 日の台風 18 号による大雨により、住宅地の浸水や山間地の土砂崩落などの被害が発生しました。

特に今回の大雨では本年 8 月より運用が開始された「特別警報」が国内で初めて発令されるなか、大雨により市内を流れる宇治川の水位が急激に上昇し、宇治川が氾濫する恐れがあったことから、市内で約 6 万人を対象とした避難指示を発令するなど、市民の安全確保に努めたところです。

一方で、道路冠水や法面崩壊が市内各所で多数発生するとともに、天ヶ瀬ダムにおいて最大で 1,156t/sec にも及ぶ放流が実施され、宇治川の水位が上昇したことにより内水排除が困難となり、半壊 1 件、床上・床下浸水 42 件の家屋被害が発生したことに加え、これらの被災箇所が多くが昨年 of 京都府南部地域豪雨災害で被災した箇所でもあったことから、市民にとって不安がいつそう深まる結果となりました。

この間、本市では災害復旧や災害に強いまちづくりの推進を最重要課題として取り組みを進めておりますが、本格復旧や市民の不安解消には多くの課題が残されております。

また、市議会といたしましても、被災状況の現地調査等を行い、早急な対応の必要性を強く認識したところでございます。

つきましては、今後の本格復旧ならびに被災者の生活再建に加え、災害に強いまちづくりの推進に向けまして、次のとおり要望いたします。

1. 木幡池の治水機能の向上
2. 山間地における土砂災害の復旧促進

平成 25 年 11 月 19 日

京都府宇治市議会議長 田中 美貴子

1. 木幡池の治水機能の向上について

この度の災害では、本市北部の木幡池（一級河川堂の川）が溢水し、周辺住宅地の広い範囲で道路冠水や家屋の浸水被害が発生をしました。

木幡池の流末には直轄管理の大島排水機場がありますが、今回の災害のみならず、昨年の京都府南部地域豪雨や近年の局地的豪雨においても木幡池の溢水による浸水被害が発生しており、地域住民は繰り返し発生する被害に大きな不安を抱えておりますことから、大島排水機場の排水能力の増強と木幡池の貯水能力の向上とが連携した対策が急務となっております。

つきましては、国に対しまして、大島排水機場の排水能力の増強を働きかけていただくと共に、国との連携のもと木幡池の治水機能の向上に早期に取り組んでいただきますよう、要望いたします。

2. 山間地における土砂災害の復旧促進について

この度の災害では、本市東部の山間地域におきまして、山腹崩壊や昨年の京都府南部地域豪雨の被災箇所を増破による家屋の損壊等が発生するとともに、2年続いた被害に地域住民は2次災害発生への大きな不安を抱えることとなりました。

昨年の豪雨災害の被災箇所の復旧に当たっては、現在、砂防事業や治山事業の採択を得て、各箇所で対策工事の着工に向け、取り組みを頂いておりますが、この度の災害状況から、それら工事の早期完成が急務となっております。

また、砂防、治山事業の採択要件を満たさない被災箇所につきましては、民有地への公費負担の面からその対応に大変苦慮している状況です。

つきましては、現在、砂防、治山事業での対策工事を予定されている箇所の早期完成に向け、取り組んでいただくと共に、砂防、治山事業の採択要件の緩和と土地所有者への支援制度構築等を国に働きかけていただくよう要望いたします。